

第4回ユニバーサルデザイン推進検討専門分科会での主なご意見

【国連総括所見】

- 昨年の国連の総括所見について、脱施設、インクルーシブ教育の2点が強調されている。1点目、脱施設について、施設から地域へ移行し、順々に入所施設を減らしていくことをもっと進めていくべき、アクセシブルで安価な住宅を確保することなどが言われた。2点目、インクルーシブ教育について、ともに学べるように、合理的配慮やユニバーサルデザイン含めた環境整備をきちんとしなさいと言われた。分離教育をやめてインクルーシブ教育へ転換するため、国の計画をつくること、具体的に地域の学校への入学を希望した場合、入学拒否できないような禁止条項を作りなさいというようなことが書かれている。
- 日本で言われる「多様な学びの場」ではなく、一人ひとりに合わせた支援や合理的配慮の充実、「多様な学び方」の充実が言われている。これまでの分科会委員からインクルーシブ教育をもっと進めるべきという意見を後押しするもの。
- 国連の勧告で言われたインクルーシブ教育も大事であり、インクルーシブな雇用も大事。特別支援学校など増えていっている日本の環境を変える必要があると考える。
- アクセシビリティの部分で日本の行政職員や企業の社員はユニバーサルデザイン、アクセシビリティもっと勉強しろとも言われている。
- 見方によっては分離とみられるかもしれないが、聞こえない人たちの集団も大事だと思っている。教育の選択権を守るということを強く打ち出した方が分かりやすくなるのではないかと思う。
- 手話を言語とした教育をちゃんと行うことを総括所見で言っている。手話を言語とする教育、日本の場合、特別支援学校の一つという位置づけだが、本来はインターナショナルスクール、民族学校という形で充実させることを求めており、ろう者の立場からみた時の課題とインクルーシブ教育を進めるということは、矛盾はしないと思う。
- 聴覚障害の方が、ろう教育を当時者だけで受けることの選択は重要だと思うが、その方たちが、例えば大学に進む、企業に就労することを考えると、手話を言語として、ちゃんと情報保障することを同時に進める必要がある。どこで教育を受けるかという選択権は障害者の側にあるが、学校側には、どうすれば一緒に学ぶことができるかということを考えるミッションがあると思う。
- 例えば行政や企業の職員も手話を身につけたり、聞こえない人が研修を受けるときや、行政でセミナーをするときには必ず手話や PC 字幕をつけるなどの情報保障をしていくことによって、インクルーシブな社会を作っていければいいと思う。

【骨子案1頁 基本的な考え方 3 指針の改定にかかる背景】

- この3年間、コロナの感染症対策が続く中で不寛容さの拡大、感染症対策が言われている中でどうしてもマスクをできない人に対してすごく理解しない気持ちが強くなる。他者への共感力、共感の低下ということが、感染症対策をきっかけに広がっているのではないかと感じているのでそのことを少し付け加えるのがいいかという提案したい。

- 権威主義からの脱却、LGBTQの合理的配慮の提供、障害者の子どもを産み育てる権利について盛り込んでほしい。

【骨子案1頁 UDの現状と課題 これまでの取組 1】

- 職員向け研修について、県職員だけでなく、市町の方、事業者の方への周知が必要だと思う。
- 教職員への研修も何らかの形で入れていただきたい。
- インクルーシブ、先生が変わらない限り絶対受け入れが難しいので一番大事と考える。

【骨子案1頁 UDの現状と課題 これまでの取組 2】

- 大阪の事例について、2階建てのコンビニの2階に車いすトイレ、バリアフリートイレが作られても階段のうえにあって使う立場からしたら使えない。条例の基準上は違反ではないが、なんちゃってバリアフリーみたいな、基準は満たしているが、実際には使えないといった事例がある。

【骨子案2頁 UD推進にあたっての方向性 1 (3) ②】

- 家庭的な状況、いわゆるヤングケアラー、生活困窮などの子どもたちへの配慮、合理的配慮への視点というのは骨子案の方向性では読み切れない、そこまで広げるのは、広げすぎなのかどうなのか。
- 障害のある子とない子がともに学ぶということが一つなので、そこで学ぶ教育を進める中で、すべてのヤングケアラーや貧困、様々な多様性のある子どもが居場所と学びの場を得られる、そういったインクルーシブ教育としてはどうか。

【骨子案(参考資料)3頁 県の具体的な取組例】

- 自閉症の子どもを持つ親御さんからの希望で、興奮をされた障害のある方が少し落ち着いて、気持ちを整理できるよう、カームダウン・クールダウンできる部屋を設置してほしい。
- 国スポ・障スポ競技会場施設におけるバリアフリー化への財政支援と載っているが、競技を行う施設だけでなく、例えば駅の視覚障害者誘導や市内の点字ブロックなど関連する施設もバリアフリー化を進めていただきたい。
- 最近、大きい電動車いすが入れるトイレが混み合っているので困っている。小さい車椅子なら入れる。トイレの機能分散のことを入れてほしい。
- インクルーシブ教育の問題もバリアフリー化がまだまだ不十分なので、例えば、一昨年か昨年の、バリアフリー化通知とかをしっかりと履行しますみたいな文言をいれてほしい。

【骨子案2頁 基本姿勢】

- 新しく社会課題とされているもの、積極的に取り組みます、のような記述があれば機能分散やLGBTQ、知的・精神の方々に考慮したしまちづくり、クールダウン、カームダウン、こういうのをまとめて最新の社会課題に積極的に取り組みます、努力してよくします、といった項目を一つ入れるならばさきほどの話は全部吸収される。